

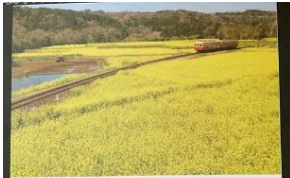


5

ダン吉&べっことときどき新聞 VOL44

発行元 小久保運送(有)/かたづけダンベえ 伊勢崎市八斗島町1604-8 0270-32-1542

2019.5.1 石神菜の花畑 クラウドファンディングで再生なるか？



この景色を守りたい

今年の石神菜の花畑は壊滅的です。連作障害が出ています。私たちが石神菜の花畑も高齢化が進んでいます。後継者がいない世代も出ています。この菜の花畑を維持することができる人もあと数年だと言われています。

この景色を守り、未来へ引き継いでいくため、私たちが石神菜の花畑は、菜の花畑のオーナー制度「ダケルハルイタパン」をスタートします。「種まきから収穫まで」を一言で、種まき、花見、収穫、搾油、一年を通して菜の花畑に関わっていただける仲間を募ります。様々な人がこの菜の花畑に関わり、中も外もごっちゃんになって、未来の暮らしを作っていきます。

2019.4.15現在 目標金額を達成しています。

クラウドファンディングって知っていますか？主にネットを活用し、不特定多数の人達からの資金調達方法です。

2年前、ここで取り上げた千葉県市原市の石神の菜の花畑。初めて現地で見た時の感動は今も忘れられません。しかし今年は連作障害と実際に管理する会の高齢化もあり、例年の3割程な規模になっているのを現地で見て愕然としました。帰り際、これからどうなるのだろう？と

クラウドファンディングってグで菜の花畑を復活、継続の呼びかけ。私は即申し込みしたと同時に、さもありませんという気持ち湧いてきたのです。

というのもこの場所、有名な撮影のメッカ。興味のない人でも、一目見れば「凄い」と声を上げる場所。が、初めて来た時に思ったのは、とにかく「お金を落とすところが無い」でした。駐車場は無料。撮影ももちろん無料。食べ物も売ってない。お土産品ももちろん無し。ここにこれだけの人が来ているのに、お金の落としようがないな。こ

れでは維持が難しいんじゃないだろうか？と思ったのでした。今回まさにこの予感的中しました。

日本中でマンパワー不足が叫ばれている中、解決できる方法の一つがお金です。お金があれば、足りないモノが補える。お金は必要な潤滑剤。今後あちこちで同様の問題が顕著になって、同手法で解決しようとする所が多くなってくるのではないのでしょうか？翻ってわが町。うーん、他人事では無いですよ。(TK)

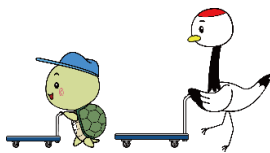
小久保運送の1.5トン車をご活用下さい

お引越しや急送便・定期便等に是非

赤帽から始まった弊社ですが、営業ナンバー1.5トン~2トントラックまでの手配が可能です。重量的に軽トラでは間に合わないお荷物の配送やお引越しなどに、是非お使い下さい。



冷凍車のご用命も是非(軽冷凍)



恵林寺といえは、武田信玄の菩提寺。春は桜が咲き誇り、この時期伊勢崎市から雁坂峠のルート沿いでは、行く先々で桜や桃の花が綺麗です。今春久しぶりに行ってみると、境内は桜や散り始めていました。が、山門をくぐると期待通りあちこちに桜の花が。と、同時に大きな複数のノボリを発見。何かな？と見ていくと、どうも武田二十四将を掲げている様子。

で、写真(秋山晴近)のノボリを撮っていて思い出ししました。学生時代に未曽か同期だったことを。旧秋山村の出身の彼。自己紹介の際そう言われ、大昔家に、山本五十六が来たことも。そんな、先祖が居るって羨ましいという、どうでも良い話ですが思い出してしまった次第です(笑)



ひょうたん